令和８年度　　百々小学校　学校経営方針

京都市　令和８年度　学校教育の重点より

【京都市の目指す子ども像】

「伝統と文化に学び、次代と自らの未来を創造する子ども」

【３つの姿】

■広い視野と豊かな感性を持ち、よりよい人生やウェルビーイングな社会を創造できる
■様々な学びを生かし、社会的・職業的自立を果たすことができる
■多様な他者と共に生き、学び合い、人権文化の担い手となることができる

【全教職員で進める学校園づくり　５つの柱】

◆『いのち』　～子どもの命を守りきる～
◆『よりそい』～多様な子どもが誰一人取り残されない教育を進める～
◆『つとめ』　～教職員の職責を自覚し、研鑽することで、教育の質を高める～
◆『ひろがり』～カリキュラム・マネジメントの視点をもって社会に開かれた教育課程を実現する～
◆『つながり』～校種間連携・接続により子どもを支える～

令和８年度　重視する視点

子どもの「主体性」と「社会性」の育成を目指し、
「自ら学ぶ力」と「自ら律し、協働する力」を高める。

【小・中学校期における「自ら学ぶ力」】

学ぶことに興味や関心を持ち、進路や将来の生き方と関連付けながら目標実現への見通しをもって粘り強く取り組むとともに、自己の学習活動を振り返り、学びをよりよい方向に調整し、他者とも協働できる力

【小・中学校期における「自ら律し、協働する力」】

地域・社会との関わりの中で、他者への思いやりや寛容、人と人との絆の大切さを実感し他者と協調しつつ、自らの生活や人生、地域・社会をよりよくするため、時と場に応じた正しい判断と行動ができる力

1　主体的・対話的で深い学びを重視した授業を通して、学びの質を高める
2　日々の授業と家庭学習との連動を通して、自学自習の習慣化を図る
3　自他を大切にし、「公共の精神」に基づく態度を育む

令和８年度　百々小学校　学校教育目標

自分も友達も大切にし 笑顔あふれる学校
～認め合い　支え合い　高め合える百々っ子～

【育てたい資質・能力】主体性、協働力、表現力

【めざす子ども像】

ど	きどきわくわくをつくり出す子
ど	りょくを続ける子
つ	ながりを大切にする子
こ	ころ豊かな子

【めざす教職員像】

●一人一人の子どもを徹底的に大切にする教職員
●教育への熱い意欲をもち、子どもとともに成長する教職員
●一人一人の可能性を信じ、将来に必要とされる学力の定着に向けて取り組む教職員
●児童・保護者・地域に信頼される教職員
●温かい人間関係づくりができる教職員

【めざす学校像】

●「チーム百々」として教職員が一丸となって粘り強く取り組む学校
●子どもの主体的な学びが実現できる学校
●保護者・地域と連携し、信頼される学校
●子どもも大人も、笑顔かがやく学校

令和８年度　百々小学校　学校経営方針

確かな学力の定着　～子どもたちの「できる」をめざして～

① 組織力を高め、一人一人を徹底的に大切にしきる教育活動の推進

・学校教育目標を共通理解し、実現に向けて組織として協働することを徹底
・特別活動、とりわけ学級活動の授業研究を進め、学校総体で主体性、協働力、表現力などの「見えない学力」（非認知能力）を育成
・生徒指導の実践上の４つの視点（自己存在感の感受、共感的な人間関係の育成、自己決定の場の提供、安全・安心な風土の醸成）を日常の授業に取り入れた授業改善の推進
・各種学力調査（全国学力・学習状況調査やジョイントプログラム・プレジョイントプログラムなど）における「見える学力（認知能力）」の向上に向けた取組の推進
・学校経営・学級経営をもとにした教職員の自己目標の設定と研修の推進
・経験年数の少ない教職員の授業力の向上を学校総体で育成（ＯＪＴ）

② 「分かる」「できる」「楽しい」が実感できる普通授業の充実

・各教科で主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業の推進
・教科担任制・交換授業を進め、子どもたちが主体的に学習できる授業づくりを推進
・各教科で言語活動を充実させ、表現力やコミュニケーション能力を育成
・単元全体を見通した指導と評価の一体化を目指す授業を展開する。
・KYOTO×2ndGIGA（タブレット端末を活用した授業の展開）を学年に合わせて推進

③ 自学自習の習慣化を促進

・本校独自の「自学自習のすすめ」を配布し、効果的な自主学習の方法を獲得し、自学自習を促進
・デジタルドリルの効果的な活用を含め、授業と連動させた家庭学習を実施
・「読み取りおけいこ」「計算チャレンジ」プリント、漢字教育の各種資料の活用

④ 「幼保小の架け橋プログラム」の推進、幼保小連携の充実

・新１年生のスムーズな就学を目指したスタートカリキュラムの充実
・架け橋期における主体的・対話的で深い学びの実現に向けた架け橋ミーティングの実施、公開授業・公開保育の開催、１年生と園児の交流や半日入学の内容の改善
・連携園との連携を中心に、本校に就学する児童の園とのつながりを深め、行事の参観や新入生の情報交換を積極的に実施

⑤小中一貫教育推進に向けた小中連携、小小連携

・小中でつけたい力を明確に共有し、９年間を通した学力向上の取組を推進
・小中合同研修会を通して、教職員の連携を深め、よりよい指導を目指した研究の推進
・山科中学校ブロックの校長会や小中連携主任、研究主任の会議を通した情報共有や切れ目のない支援の実践

⑤ 個別に支援を必要とする児童への支援の充実

・個別の教育支援計画、個別の指導計画を活用した普通授業での支援の改善、充実
・保護者との連携を密にし、合理的配慮等、個に応じた指導の充実
・教育委員会や放課後等デイサービス等、他機関との連携の充実、組織的な対応

豊かな心の育成　～教育を受けること自体が重要な人権保障である～

① 人権教育の充実

・「なかよしＤＡＹ」を活用した様々な人権感覚をみがく取組の推進
・育成学級（発達・情緒・視覚）や通級指導教室（LD・ことばときこえ・弱視）への理解と安心安全な学校生活が送れるための取組の推進
・人権教育年間計画を作成し、人権意識の高揚をめざした取組の実践
・教職員の人権感覚の向上をめざした人権教育研修の充実

② 「特別の教科　道徳」の指導の充実

・よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うための道徳科の授業改善
・道徳科の授業で育成した道徳的実践力の実践を目指した特別活動との連携の推進

③ 情報モラル教育の指導の充実

・児童を取り巻く SNS に起因する問題行動や犯罪被害が多発していることから、児童がデジタル社会を生き抜くために必要な考え方と態度の育成
・情報発信や情報の見極め、生成 AI の性質・リスク（５年生）などの情報モラルについて年間を通して指導を推進

④ 子ども一人一人に届く生徒指導（発達支持的生徒指導）の実践

・組織的な「見逃しのない観察」「手遅れのない対応」「心の通った指導」の推進
・本校の子どもたちに重点を置いて指導したい規範５項目（あいさつ、温かい言葉遣い、名札の着用、掃除、時間の遵守）を「かっこいい百々っ子になるために」で示すとともに、規範意識の高揚につながる指導の推進
・いじめ・暴力等、社会で許されない行為など毅然たる姿勢で指導を徹底

⑤　望ましい学習集団づくりの推進

・特別活動の実践を通した学級・学年を基盤とした認め合い高め合う集団づくりの確立
・異学年のつながりの深化を目指した縦割り活動（どどっこタイム）の充実
・様々な立場や心身の特性、考え方を認め合い、理解し合えるような集団づくりの推進
・すべての教育活動の中で生徒指導の実践上の４つの視点「自己存在感の感受」「共感的な人間関係の育成」「自己決定の場の提供」「安全・安心な風土の醸成」を大事にした自己指導能力の育成

⑥ 様々なつながりの活用

・ＳＣや SSW、他機関との連携の深化、個別の指導計画等を活用したケース会議の推進
・地域各種団体と連携した教育活動の充実や子どもたちの安心感の涵養の取組

健やかな心と体の育成

～自分の心、体、命に関心をもち、自らよりよくしていこうとする意識を高める～

① 基本的生活習慣の確立

・家庭と連携した「早寝・早起き・朝ごはん」と歯磨きの推進
・学級活動（２）の取組を推進した自分の体や心の状態に気づき、改善に向けて実践しようとする態度の育成
・年間３回の生活リズムづくりを通した生活習慣の確立

② 体を動かす爽快感、達成感を味わえるような取組の充実

・ジャンプアッププロジェクトや DHP（Dodo Health Project）の取組を通した体を動かす楽しさを実感できる取組の推進
・教育委員会の進めるスポーツチャレンジ大会やダンス動画の配信などを生かした、全校で楽しく運動する取組の実施
・楽しく学べる体育学習の実践

③ 飲酒、喫煙、薬物の有害性の理解と実践

・薬物乱用防止教室、非行防止教室の取組を通した正しい知識を身に付ける取組の推進
・保健学習を通した飲酒や喫煙、薬物の理解の促進、行動化

④ 自身を守る知識を身に付け、適切に行動できる安全教育の充実

・自分の命は自分で守るという「主体的に行動する態度」の育成を目指した、子ども自らが気づき、行動化するための避難訓練、防犯教育、安全教育の実践
・安心して学校生活を送るための校内の安全点検の徹底
・教職員・保護者・地域の三者がリスクマネジメントについて共有し、安全教育を推進

今年度徹底する取組

１．授業力の向上を通した確かな学力の育成

すべての子どもが「できる喜びと学ぶ楽しさ」を実感できる授業をめざした授業力の向上（ＯＪＴで組織的に取り組む。）

２．特別活動の取組を通した望ましい学習集団づくり

・特別活動の実践を通して、学級や学年を基盤とした認め合い高め合う集団づくり、心の居場所づくりを進め、望ましい学習集団づくりを促進
・規範意識の育成を図る「かっこいい百々っ子になるために」の実践と自己肯定感の高揚を図る「百々プロジェクト」の推進

３．安心・安全で健康に過ごすための取組の推進

・基本的生活習慣の確立や健康的な体づくりのための、子どもが自分の心や体の状態に気づき、改善しようとする態度を育むための DHP（Dodo Health Project）の取組の推進
・「主体的に行動する態度」の育成を目指した、自分で気づき主体的に行動できるようなプログラムを取り入れた安全教育や防犯教育の実践